

感謝

平成二十三年四月一日
平成二十三年四月二十四日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。

なにとぞこれからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願いも申し上げます。略儀ながらお礼条に替えさせていただきます。

金員・物品の「寄付

・北杜市長坂町	内藤 紀宏
・北杜市長坂町	小平 邦子
・諏訪郡富士見町	武居 義勝

ボランティア活動

・北杜市大泉町	奥本 道子
・北杜市高根町	佐藤 英道
・北杜市大泉町	佐藤 マサミチ
・北杜市高根町	保坂 多枝子
・レクボランティアほがらかグループ	代表 吉田 道子
・レクボランティアゆずつこの会	代表 佐野 恭子

愛寿会後援会への「協力

・甲斐市龍地	山坂 一臣
・北杜市須玉町	坂本 まゆみ
・北杜市高根町	坂本 佳代子
・北杜市高根町	保坂 行美
・北杜市長坂町	秋山 晴美
・北杜市白州町	渡辺 奈美子
・北杜市長坂町	相吉 節子
・北杜市大泉町	齊藤 功文
・北杜市長坂町	伊藤 進

新規加入のお願いと個人会員・法人又は団体会員の皆様へのお願い

ご高齢の皆様、また、心身に障害をお持ちの皆様のために、ふるってご加入、お振込のほどをお願い申し上げます。(同封の振込用紙をご利用ください)

新規加入の方

- 終身会員 20万円以上
- 個人会員(年額) 2,000円以上
- 法人又は団体会員(年額) 10,000円以上

継続の方

- 個人会員(年額) 2,000円以上
- 法人又は団体会員(年額) 10,000円以上

会費の納入先

事務局

山梨中央銀行 長坂支店
口座名 社会福祉法人 愛寿会後援会
口座番号 普通預金 番号 563608

郵便局
口座名 社会福祉法人 愛寿会
口座番号 00210-8 46492

山梨県北杜市長坂町小荒間1293番地
社会福祉法人 愛寿会
電話 0551-32-3340 FAX0551-32-3546

愛寿会では次の職員を募集しています

お尋ねは 〇五五一一三三一一三三四〇まで

第二仁生園に勤めながらヘルパー二級をとりたい方

国・県の雇用対策事業によるものです。応募者は愛寿会の臨時職員となつたうえヘルパー二級資格を取得するよう勉強することになります。勉強のないときは第二仁生園の仕事をする事になります。

給料は愛寿会が国から委託を受けて支払います。年額にして約二百万円です。

そのほか夜勤手当、交通費等が支払われます。更に、受講料、教科書代等として十万円ほどを負担する仕組みです。

資格取得後のことですが、施設側と受講者が話し合つて引き続き職員として勤めるのが基本です。ただし、話し合いの結果によって、別の施設に勤めるもよし、転職するも可…という弾力的な制度です。

仁生園・第二仁生園での事務補助・介護補助・作業補助などの臨時職員

雇用期間は最大六ヶ月間です。

働きたいが働くところがないという方に臨時応急に職場を提供するものです。

日給八千円が標準です。別に通勤手当が支給されます。

介護補助の場合は継続雇用することがあります。

愛寿会 たより

5 月号
第 143 号
平成 23 年
5 月 1 日 発



愛寿会後援会の働き

一層のご理解とご協力を

愛寿会理事・愛寿会後援会 会長

中山 賢 一

愛寿会の仕事に関わって三年になります。「利用者のために」をモットーに取り組んでいる愛寿会の経営姿勢は一般に高く評価されているものと考えています。

福祉施設は、介護報酬や障害者自立支援費だけでは賄いきれない多くの課題を抱えています。

愛寿会後援会はそれらを極力補完しようとの考え方に立って四年前に設立をみました。介護保険制度は、その報酬額の適否も含め三年に一度見直しされることになっています。

プロピアニストによる慰問演奏会（写真）

四月十二日（火） 仁生園にて

参加者八十人を数えました

愛寿会後援会では、今年初めての試みとしてプロピアニスト等を招いての慰問演奏会を年二回（桜の季節とクリスマス）開催するための費用を計上しました。

これにより、四月十二日（火）午前十時から一時半、写真のように佐藤マサミチさんによるピアノ演奏をたのしみました。使用のピアノは、三月に小淵沢町上笹尾三五六の坂本光彦様からご寄付いただいたものです。

仁生園から約五十人、第二から十人など合わせて八十人が参加、往年の映画の楽曲、流行歌等に耳を傾けました。

今回は、平成二十四年度分からです。しかし、そのつど報酬が引き上げられ、それに並行して支援費もアップされるかというところ、そうは限りません。六年前は介護報酬が相当額引き下げられたのです。

今回の見直しは、より利用者と福祉従事者の立場に立ち適切な額に引き上げられるよう期待しています。

後援会の支援ですが、平成二十二年度には、介護福祉士資格取得のための講習会費や地デジ対応型テレビの購入費などに充てました。

二十三年度には、新鋭介護機器の試行的導入など通常の施設予算では、措置しにくい課題にも支援する考えです。

また、利用者の皆様のためのプロ奏者による慰問の会の開催、ケアワーカーによる介護研究への援助なども行う予定です。

愛寿会の仕事が常に一流であるためには、後援会の支援は不可欠と思っています。

既に会員となっておられる皆様はもとより、多くの皆様に、後援会事業の趣旨をご理解いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

広報委員会から

五月号は、後援会特集号としました

ご了承ください

料金後納郵便

冊子小包

差出人(差出発送代行)

7-4

佐川物流サービス(株)

返送先: T140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

四月十二日（火） 愛寿会後援会総会が開かれました

先ず、平成二十二年度の事業報告と決算が認められ、続いて平成二十三年度の事業計画と予算が議決されました。それらのあらまきは以下のとおりです。

平成二十二年度事業報告と決算報告

会員数が四百二人になりました

平成二十一年度末の会員の状況は、終身会員が十六人、通常会員が三百八人合わせて三百二十四人でした。

平成二十二年度末では、終身会員が十九人と三人増加し、通常会員は三百八十三人、七十五人増、合わせて四百二人、七十八人増となりました。

会員による収入二百六十余万円

会員の皆様からの寄附金収入は二百六十余万円でした。ありがとうございました。

仁生園・第二仁生園ともおかげさまで盛大に夏祭りを行うことができました

夏祭りは、第二仁生園が先行七月二十八日（水）の実施でした。開設して三周年になりましたのでその記念を兼ねての祭りとなりました。今回は利用者の皆様が何回も参加できるようプログラム編成に工夫を凝らしました。

平成二十一年度以後援会のご負担により機能訓練用の太鼓四基を購入していただきました。一年間訓練を続けた成果は歴然で「大層腕前が上がった」と拍手喝さいでした。

仁生園の方は八月七日（土）でした。

ご家族の皆様が参加しやすいようにとの考えから初めて土曜日の開催としました。

各グループごとの利用者の皆様による歌や踊りに時間の過ぎるのも忘れた風情でした。

長坂町出身のプロ歌手北杜幸一さんの賛助出演もあり大盛況でした。

焼きそば、焼き鳥、串カツなど食べる楽しみも盛りだくさんでした。好天に恵まれ最後の花火も堪能するに十分でした。



8月7日仁生園の夏祭り。
ご家族の皆様が参加しやすいよう土曜開催にしました。会場全体立錫の余地なしでした。

介護福祉士資格取得のための事前講習会

九月十四日、十一月十八日、一月四日の三回実施しました。講師は前年と同じく県立大学の伊藤健次先生。おかげさまで平成二十二年度は五人が合格しました。（前年は三人でした）

仁生園の全部のテレビを地デジ化

二百八十万円を投じて二十四台のテレビを一新しました。この機会に大型化を図ったり録画装置を揃えたりしました。利用者の皆様は口々に「見やすくなった」、「きれいになった」、「歌謡曲やコメディものなどの録画再生ができるので都合がよい」など喜んでくださっています。

後援会の皆様ありがとうございます

理事長 小澤 澄 夫

平成二十二年度は仁生園の全部のテレビを一新してくださるなど他の法人に例をみないご支援をいただき感謝申し上げます

二十三年度も多方面にわたって援助していただくことになりました。職員と共に御礼申し上げます。

それにつけましても誠心誠意その任に当たらなければならぬと一心を新たにしているところです。

介護労力軽減のための機器整備

利用者の皆様の高齢化、重度化が進みケアワーカーの負担も一昔前とは段違いに増えています。こうした傾向を踏まえ介護用の機械器具の改善改良も日進月歩です。後援会ではケアワーカーの労力の軽減と利用者の皆様の快適性の確保を図るためにとの考え方から最新の機器購入費として百万円の予算措置をしてくださいました。

これにより、去る三月、改良されて格段に使い易くなった便洗器一台と、操作性に優れた車椅子五台を購入しました。

平成二十二年度決算

平成二十二年度の会員の皆様からの寄附金は二百六十余万円でした。

これに対し、支出額は四百余万円でした。ですから、単年度では百四十余万円の赤字となります。この分は予算で決められていたとおり、平成二十一年度から二十二年度に繰り越された六百五十余万円のうちから取り崩して充てることにしました。以上申し上げましたように平成二十二年度は、後援会として大幅な投資を行いました。それでも平成二十三年度へ五百余万円の繰り越しをすることができました。

平成二十三年度事業計画

介護福祉士資格取得のための事前講習会

前年度と同様山梨県立大学から講師をお招きし年三回開催するほか、新たな試みとして先輩職員の指導のもと四月から十二月に掛け三十三回にわたり過去数年の問題をひもとき学習に努めます。(本頁の中・下段の記事をご参照ください。)

介護労働合理化設備等整備事業

介護用機器は日進月歩です。利用者の快適性を増し、同時に職員の労力軽減にもつながる新製品を試行してみるための費用として昨年度百万円を計上しました。同じ趣旨に立つものであり二百万円を計上しました。

利用者を慰問する会の開催

平成二十三年度の新しい試みとして、桜の季節やクリスマス等にプロの音楽家をお招きし童謡とか往年の流行歌を楽しんでいただくとするものです。二回分を計上しました。

夏祭りの開催

利用者の皆様の最大の楽しみの一つが夏祭りです。過去二年と同じく、後援会の全額負担により盛大に開催するよう所要の予算を計上しました。

職員による介護研究会への支援

愛寿会には十の介護に関する研究会があります。職員は全員が何れかの研究会に所属、年間を通し研鑽を重ねています。その際の研修資料作成費、また、最終的にとりまとめる研究集録の作成費等を支援するものです。

介護福祉士資格取得事前学習会が始まりました

先輩職員が指導 四月～十二月間に三十三回開催

介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等の有資格者の多少は即施設のサービスレベルの

優劣に連動します。そのような観点から後援会のご支援のもと一昨年来山梨県立大学から講師をお招きし事前講習会を開催してきました。平成二十三年度は県立大講師による事前講習会も開催しますが、これとは別に石原公興リーダーが理事長の特命を受け、過去数年間の出題内容から頻度の高いものを選び出し毎週木曜日の午後五時半から、三十三回にわたり学習することになりました。

介護福祉士の資格は国家試験に合格しないと付与されません。その受験資格の一つに、「実務経験三年以上の者」というのがありますが、平成二十七年からは、「実務経験三年以上で別に定める研修四百五十時間以上を履修した者」に改められる見通しです。この学習会の実施は、右の法改正を先取りしてのもです。



上の写真は4月21日(木)午後5時半から開催された、第1回事前学習会の様子です。

平成二十三年度予算